学校だより第５号　　令和５年８月２５日

新宿区立戸塚第三小学校
校長　立野 文雄

ながれ

98th

きっかけ

副校長

３５日間に及ぶ夏休みが昨日で終わりました。子供たちはどのような夏休みを過ごしたのでしょうか。今年の夏は‘危険な暑さ’と言っても過言ではないほど、猛暑日の日数が観測史上記録を更新したということです。ニュースを見聞していると、この猛暑は日本だけでなく世界中でも同様な現象が起きていて、その影響による山火事で甚大な被害があった所も報道されていました。地球温暖化がその原因と言われています。国連は２０３０年までに二酸化炭素排出量を半分に減らさないと、世界の気候が一気に崩れると指摘しているそうです。

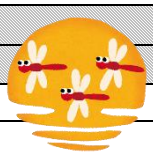
先日、あるテレビ番組で空気中の二酸化炭素を回収して空気を冷やす機械を製作した人物を紹介していました。その方は村木風海（むらきかずみ）さんで、若くして様々な役職に就く化学者でもあり発明家です。村木さんは２０００年生まれ、小学４年生のとき、祖父からプレゼントされた英国の物理学者ホーキング博士の『宇宙への秘密の鍵』という子供向け冒険小説を読んだことがきっかけで、二酸化炭素に興味をもったそうです。その本に掲載されていた、広大な赤い砂漠に青い夕日という火星の写真を見て、地球とは全く逆の風景に一瞬にして心を奪われたそうです。そして、「火星に住むにはどうすればいいか」の研究に没頭するようになりました。中学生のとき、地球温暖化の問題を初めて知り、温暖化を食い止めたいと思ったそうです。様々な書物を読み、二酸化炭素を直接空気中から回収する実験を繰り返し、高校２年のときにボタンを押すだけで空気中から二酸化炭素を回収し冷やすことのできる機械を完成させました。この機械は実際に販売されていて、個人宅やオフィス、学校や市役所、病院などで使われているそうです。

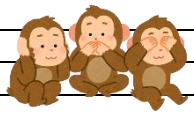
小学生のときに興味をもったことが、近い将来、地球を救う発明につながるかもしれないと思うと、今後の進展にとても興味関心が高まります。

さて、学校では子供たちが夏休み中に取り組んだ自由研究の発表会や展示が行われます。毎年、この自由研究を見させてもらうのが私の密かな楽しみの一つになっています。子供の発想は本当に無限大だなといつも感じます。この自由研究をきっかけにして、村木さんのような発明をしたり、将来、化学者を目指したりする子供たちがいるかもしれないと密かに思いながら、子供たちの作品を見させてもらおうと思います。

８・９月の主な行事予定

8/25	金	始業式　日光移動教室説明会（6）
26	土	
27	日	
28	月	身体測定（5･6）　給食始
29	火	身体計測（3･4）
30	水	身体計測（1･2）　ものづくり体験教室（5）
31	木	
9/1	金	委員会　まなびの教室始
2	土	
3	日	
4	月	クラブ　安全指導
5	火	伝統文化理解教育（5）
6	水	美術鑑賞教室（3）
7	木	5時間授業　脊柱側わん症検診（5）
8	金	水泳指導終　避難訓練
9	土	
10	日	
11	月	道徳週間始　校内研究授業日 （5年　5時間授業　他4時間授業）
12	火	巡回相談（丹先生来校）　神田川ファンクラブ
13	水	情報モラル講習会（5）
14	木	2年生木曜日6時間授業始
15	金	学校公開日始　5時間授業　保護者会（1･2年）
16	土	3時間授業
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	学校公開日終　5時間授業　保護者会（3･4･5年）
20	水	4時間授業
21	木	神田川ファンクラブ予備日
22	金	移動教室前日検診（6）
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	日光移動教室始（6）
26	火	
27	水	日光移動教室終（6）
28	木	
29	金	ものづくり体験教室（6）
30	土	





※予定は変更になることがあります。

＜工事について＞
夏季休業中行っていたシャッターの工事を９月中も継続して土日に行います。教育活動には影響のないよう安全に行います。

道徳週間

道徳主任

本校では、学期に１回ずつ「道徳週間」を実施しています。毎週の道徳の学習だけでなく、子供たちが自分のめあてを決めて、特に道徳週間では、そのめあてを意識しながら生活します。２学期は、９月１１日(月)から１６日（土）までです。今回は、重点目標である「自然愛護、希望と勇気・努力と強い意志」を基本とした５つのめあてから自分で１つを選びます。子供たちがより強く意識できるように、「『心の勉強』がんばりカード」を使用します。

【２学期の重点のめあて】

① 物を大切にしよう。
② 動物や植物を大切にしよう。
③ 良いと思うことをすすんでしよう。
④ 自分の仕事や勉強をしっかりしよう。
⑤ 自分がやると決めたものを最後まで取り組もう。

児童の心は道徳の授業だけでなく、日々の生活でも育まれていきます。児童が自分の心と素直に向き合い、豊かな学びをし、よりよく生きていくことができるようよう、指導していきます。

水泳指導

水泳指導担当

今年は天候に恵まれ、どの学年も複数回、プールの学習に取り組むことができました。低学年は、大きなプールの中で、体のバランスを保ちながら移動することやもぐったり浮いたりする学習をしました。中学年は、壁をしっかりけって、けのびやバタ足で進むこと、高学年ではクロールや平泳ぎの泳法を学びました。

また、万が一、水難事故に巻き込まれた時に、自分の命を守るための“着衣泳”を行いました。衣服を着たまま水に入ると、重くなり体が自由に動かなくなることを体験しました。慌てずに落ち着いて、浮きながら助けを待つことを学び、背浮きにチャレンジしました。ビート板やペットボトルをあごの下に抱え、体の力を抜くことを練習しました。どの児童も真剣に話を聞き、一生懸命に取り組んでいました。

女神湖夏季施設（５年）

５年担任

１日目は、鷹山ファミリー牧場で、乳しぼり体験やバーベキューをしました。この牧場は命の教育もしていて、バーベキューで食べた野菜やお肉、牛乳は牧場で育てたものです。みんなで命に感謝していただきました。夜はキャンプファイヤーをしました。ジェンガやマイムマイムを踊ったり、歌を歌ったり、ゲームを楽しんだりして、大いに盛り上がりました。さらに、カシオペア座、白鳥座、北斗七星などの満天の星の下、星空観察もできました。

２日目は、八島湿原と車山ハイキングでした。湿原ではたくさんの高山植物を見たり、車山では素晴らしい眺望のリフトに乗ったりしました。天候にも恵まれ、高原のさわやかな気候の中のハイキングになりました。ハイキングが終わった後のソフトクリームに子供たちは大喜びでした。

３日目は和紙の里でうちわ作り体験をしました。伝統文化にふれることができ、楽しそうに体験活動をしました。

２泊３日を通して、集団行動や友達とのかかわり方など多くのことを学んだ３日間でした。

まなびの教室

特別支援教室専門員

子供たちは、誰もが得意なものと苦手なものを共にもち合わせています。それがかけがえのない個性のもとの一つにもなっています。ただ、この得意・不得意に著しい差があって、その子に合った学び方を必要とする場合、本校の「まなびの教室」において、巡回指導教員（戸塚第二小学校）より適切な指導が受けられます。

授業は毎週金曜日に行われ、１人１時間または２時間の学習をしています。学習形態は個別と小集団を軸にしています。個別学習では、個々のニーズに応じて、「スピーチ」「ソーシャル・スキル・トレーニング」「聴き取りワーク」「ビジョントレーニング」などの個別指導を受けます。一方、グループ活動は、意思表示能力や意見の認め合いを高めるコミュニケーション活動と、基礎的な運動能力の向上と運動経験の拡大を図る活動をしています。いずれも学校生活、社会生活への適応力を高めることに主眼が置かれています。

このように、多種多様なプログラムで学習支援のニーズに応えていますが、併せて使用する教具・教材も多彩に富んでいます。そのおかげで、利用している子供たちの興味関心が広がり、学習に意欲的に取り組んでいます。